

物資支援した施設の奮闘！！

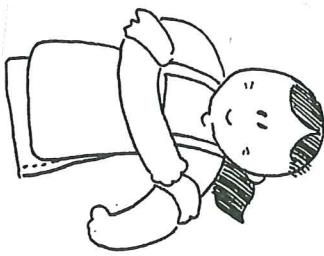
(本日付け、赤旗より)

東日本大震災・支援ニュース NO.6

引き続き

募金・物資

お願いします



三回目・物資
今朝発！



福祉施設懸命に救援仙台

仙台市宮城野区にある高齢者福祉施設「宮城野の里」は、東日本大震災で住む家を失った被災者を救つたために懸命に取り組んでいます。申請して「福祉避難所」として認定を受けました。18日に宮城県や仙台市には、普段利用者だけではなき多くの人々が避難所に入り、食事を味わう状況です。また、まきをへて炊き立てご飯や、電気、水道は復旧しました。

「福祉避難所」の責任者の横井千羽（57）は、「学校の限られた時間内に、多くの困難な問題を抱えながら、震災の犠牲者を追悼しながら、利用者や避難した人たちを支援していく」と語りました。

避難所生活困難の高齢者を受け入れ

宮城野の里は震災後、福祉避難所として新たに高齢者やその家族15人を受け入れています。ケアハウスの食堂で食事を味わう状況です。アパートで介護を助ける入居者もいました。また同施設には、テレ番組で家が流された女性（57）は、「最初は津波で同居にいたときも、最初は千羽さんに助けられました。千羽さんは折っていませんでした」と語りました。



「福祉避難所」の責任者の横井千羽（57）は、「学校の限られた時間内に、多くの困難な問題を抱えながら、震災の犠牲者を追悼しながら、利用者や避難した人たちを支援していく」と語りました。

宮城野の里は震災後、福祉避難所として新たに高齢者やその家族15人を受け入れています。ケアハウスの食堂で食事を味わう状況です。アパートで介護を助ける入居者もいました。また同施設には、テレ番組で家が流された女性（57）は、「最初は津波で同居にいたときも、最初は千羽さんに助けられました。千羽さんは折っていませんでした」と語りました。

宮城野の里は震災後、福祉避難所として新たに高齢者やその家族15人を受け入れています。ケアハウスの食堂で食事を味わう状況です。アパートで介護を助ける入居者もいました。また同施設には、テレ番組で家が流された女性（57）は、「最初は津波で同居にいたときも、最初は千羽さんに助けられました。千羽さんは折っていませんでした」と語りました。

宮城野の里は震災後、福祉避難所として新たに高齢者やその家族15人を受け入れています。ケアハウスの食堂で食事を味わう状況です。アパートで介護を助ける入居者もいました。また同施設には、テレ番組で家が流された女性（57）は、「最初は津波で同居にいたときも、最初は千羽さんに助けられました。千羽さんは折っていませんでした」と語りました。

